

中央図書館からのお知らせ



ぱ び る す

2019年
11
月号

編集／発行
苫小牧市立中央図書館
指定管理者TRC苫小牧
グループ

〒053-0011
北海道苫小牧市末広町
3丁目1番15号
TEL 0144-35-0511
FAX 0144-35-0519
✉ info@tomakomai-lib.jp



募集

図書館文化セミナー 「源氏物語はなぜ読み継がれるのか」

平安時代中期に書かれた長編物語である『源氏物語』は、谷崎潤一郎をはじめ、円地文子、瀬戸内寂聴、田辺聖子、角田光代などによる現代語訳が生み出されています。また、京都府にある宇治源氏物語ミュージアムが人気で、いつの時代も人々の人気を集める文学作品です。

今回は、市内で活動している「源氏の会」の講師も務めている林晃平先生をお迎えし、なぜ現代まで『源氏物語』が長く読み継がれるのか、その魅力についてのお話をさせていただきます。

- 日時 11月17日(日) 10時30分～12時00分予定(10時00分開場)
- 対象 要申し込み(定員70名 先着順)
- 会場 2階講堂
- 受付 11月1日(金)～中央図書館カウンターまたは☎0144-35-0511
- 共催 源氏の会

お知らせ

おはなし玉手箱 ～大人と子ども みんなで楽しむおはなし会～

図書館内外でよみかせやストーリーテリング、朗読の活動をされている各団体が一堂に会し、様々な物語を披露します。また、各団体の活動を紹介するパネル展を1Fエントランスにて10月22日(火)～11月17日(日)まで開催中!

- 日時 11月10日(日) 10時00分～13時00分予定
- 対象 どなたでも(定員70名)
- 会場 2階講堂

募集

図書館 de 年金セミナー

2級ファイナンシャルプランナー中瀬 信一氏に公的年金の基本などについてやさしく解説していただきます。

- 日時 11月30日(土) 10時30分～12時00分予定 (10時00分開場)
- 対象 要申し込み(定員30名 先着順)
- 会場 2階講堂
- 受付 11月1日(金)～中央図書館カウンターまたは☎0144-35-0511
- 共催 年金ライフプランFP事務所



お知らせ

図書館主催の各コンクール受賞作品を展示します

夏休み読書感想画コンクール
期間:10月26日(土)～11月10日(日)
会場:2F通路

苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール
期間:11月23日(土)～12月1日(日)
会場:2F通路

お知らせ

民族共生象徴空間「ウポポイ」 国立アイヌ民族博物館PR展示 **ヤヨペヨペ**

2020年4月24日、白老町に民族共生象徴空間「ウポポイ」が開業するのを前に、2階自習室前展示コーナーにて、10月26日(土)から4ヶ月間連続で当館所蔵のアイヌ民族関連資料の展示を行うとともに、国立アイヌ民族博物館準備室よりご提供いただいたパネル・パンフレットで同施設のPR展を開催いたします。おとなり白老町にできる国立博物館と注目されるアイヌ文化について学んでみましょう。(ヤヨペヨペは「自己紹介」を意味するアイヌ語だそうです)

1階ガラス展示 「苫小牧には昔、〇〇があった」

中央図書館があるこの場所は、その昔苫小牧工業高校がありました。駅前の娯楽場パークが駐車場になる前は娯楽場という演劇場（のちに映画館）だったこと、樽前山神社は数十年前に移転する前は昔の大通り（現在の国道36号線）沿いにあったこと、苫小牧村・苫小牧町時代のまちの中心地は……？ 調べてみたらおもしろい苫小牧の今昔を写真や地図で見ませんか？ 同テーマで小学4年生の男の子が“図書館で調べる学習コンクール”に応募いただいた作品も併せて紹介いたします。

OPAC[検索機]横展示 「桜とグラウンド」

W杯で盛り上がっているラグビーについての本を集めました。ラグビーの戦い方や練習法、五郎丸選手が一躍有名になった2016年の試合写真が載っている報道写真集等も展示します。そして「テレビドラマ化されたノーサイド・ゲームを読みたいけど、予約がいっぱいで……」と思っているそんな方々へ、ラグビー関連の小説も展示いたしますので是非ご覧ください！興味がある方も、ふらっと図書館に立ち寄っただけの方もOPAC（検索機）横にてお待ちしております。

『不動の魂』 五郎丸 歩／著 東京：実業之日本社 2014.12 [783.4 フ] ㊦



新刊横展示 「伊藤 整 没後50年」



小樽ゆかりの作家 伊藤 整 が亡くなって50年になります。没後20年を契機に1990年に「伊藤整文学賞」が創設され、小説と評論の2部門でそれぞれ活躍されている作家が受賞しました。残念ながら小樽市の資金難で2014年第25回までで終了してしまいましたが、今も活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。それらの受賞作品を、伊藤 整 の作品と共に、集めてみました。ぜひ手にとってご覧ください。

㊦『渡良瀬』 佐伯 一麦／著 東京：岩波書店、2013.12 [F サ]

YA展示 「ほっこりな話」

あなたはどんな時「ほっこり」しますか？ お風呂でゆったりする時、美味しいものを食べた時、愛らしい動物の姿を見た時、のどかな光景を見た時など、人それぞれのほっこりがあることでしょう。今回の展示では動物が中心として出てくる本や主人公たちにほっこりしている人がいる本、美味しいものを食べて心もお腹も満たされている姿や平和な世界観に読後ほっこりとした気持ちになれるのではないかと思います本などを集めました。すっかり寒くなってきたこの時期、読書で心からほっこりとあたたまって下さい。

㊦『異世界食堂 1』 犬塚 惇平／著 東京：主婦の友社、2015.03 ヤング [BFイ I] ㊦



2階ガラス展示 「アイヌの暮らし」



アイヌ民族は、昔から北海道や千島列島、サハリン南部などに暮らしてきました。アイヌ語を話し、独自の文化や歴史を築いてきました。厳しい北の自然の中、アイヌの人々はどのような暮らしをしてきたのでしょうか。

第一弾としてアイヌの“暮らし”に焦点を当て、食事や住居の様子、身に着けていたものなどをパネルや写真、関連書籍を交えて紹介します。

㊦『アイヌ文化の大研究』 中川 裕／監修 東京：PHP研究所、2018.12 [382.1 ア]

児童丸テーブル展示 「うちどくスタンプラリー」

風の冷たい季節になってきました。11月は「うちどく」月間。温かいお部屋の中で、家族やお友だちと、本を読み聞かせしたり、同じ本を読んだりしてみませんか？ いっしょの本と時間を楽しんで、もっと暖かくもっと仲良くなりましょう。中央図書館の児童カウンターでは、10月26日（土）～11月30日（土）まで、「うちどくスタンプラリー」のカードを配布します。「かぞく」「おでかけ」など9つのテーマに沿った本を、丸テーブルや本棚から選んで、児童カウンターで本を借りて、スタンプラリーに挑戦してみてください。

㊦『どんなにきみがすきだかあててごらん』 サム・マクブラットニイ／ぶん、アニタ・ジェラーム／え 東京：評論社、1995.10 [E ト] ㊦



11月の館内展示紹介

10月26日（土）～11月28日（木）



図書館の裏側や豆知識などあれやこれやを紹介する雑談日記。
第30回目は「図書館ミニシアター」について

図書館員の
雑談日記

みなさんは、図書館ミニシアター／ナイトミニシアターをご覧になったことがありますか？

中央図書館では、毎週日曜日13時半より、2階講堂で映画の上映会を行っています。イベント等で中止となることはありますが、第1・3週は大人向け、第2・4週は子供向けの映画を上映しています。また、第2・第4水曜17時45分より、大人向けにナイトミニシアターの上映をしています。

今でこそ、ご自宅で気軽にDVDを借りるなどして映画を観ることができますが、やはり大画面・大音量で観る迫力は違います！終わった後の余韻もなかなか良いものです。お友だちやご家族と一緒になら、同じ時間を共有できて、楽しさがなお増します。どんな映画がいつ上映されるのか？それは、毎月発行される当紙“ぱびるす”の巻末頁や上映案内ポスター・チラシをご覧ください。どなたでも無料・申し込み不要となっています。ぜひお越しください！

レファレンス
小断4



「図書館でこんなこと聞いても、いいのかしら？」と聞かれることも多いのですが、レファレンスとは、一言でいうと「調べもののお手伝い」のこと。調べたいことがあれば、遠慮なくお尋ねください。レファレンスカウンターでお待ちしております。

今回は、『レファレンス協同データベース』からレファレンス事例をご紹介します。

「アンパンマンは初期の頃、人間だったと聞いたことがあるが、そうなのか」これは某県立図書館でのレファレンス事例です。

『アンパンマン大研究』やなせたかし・鈴木一義／編著 フレーベル館,1998(778.7 ア)の中で、アンパンマンの描かれ方の変化が紹介されています。また、質問にある人間だったとは、1969年に『PHP』に掲載された童話『十二の真珠』の第6話に登場したアンパンマンの原型の姿を指しているようですが、現在の2等身半のかわいらしいキャラクターとはまったくの別物～たしかに人間です。童話を読みたい方には『十二の真珠』復刊ドットコム,2012[Fヤ]を所蔵しています。その後、絵本『あんぱんまん』フレーベル館,1973でキャラクターの基礎ができた後も、年を経て現在の姿に変化しています。



『レファレンス協働データベース』とは、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース。一般公開扱いで登録されたものはどなたでもご覧いただけますし、公式Twitterではピックアップされた事例を日々つぶやいています。回答や解決に至る資料紹介がされているので、興味のある方はのぞいてみてください。

「昔話の『桃太郎』に出てくる家来はなぜ犬・猿・キジなのか?」「歴史上の“～の乱”“～の変”“～の役”の使い分け方」「豆腐はなぜ白いのか?」「ソ連って結局何だったんでしょうか?」「香草パクチーの別名は?」「消費税は誰が考えたのか?」等々、身近な疑問も含め、様々な事例が紹介されています。

新刊案内
[一般書]

『超入門!ニッポンのまちのしくみ』

福川 裕一／監修,青山 邦彦／イラスト,淡交社編集局／編
京都:淡交社,2019.03 [518.8 千]



近年、自然災害の多発により、地形については気にする機会が増えていますが、「まちのしくみ」は改めて聞かれると謎が多いと感じる方もいるかと思います。「町はどこまでが都会で、どこからがそうじゃないの?」という境目の疑問から「なんで日本の町は電柱・電線だらけなの?」といった近年苫小牧市内でも進んでいる電線地中化についてなど、まちづくりに必要なものや街を作っていくうえで出来上がった物事を説明役の先生と生徒である子どもとの会話形式でわかりやすく読むことができます。

説明中には、税金や法律にも絡めた話が多く出てきますが、簡潔にまとめられています。この本では皆さんが学生の頃に習った街の仕組みや、以前とは変わってしまった今のまちのしくみなどを見比べてはいかがでしょう。大人になった世代にこそ、ぜひ読んで頂きたい一冊です。

日	月	火	水	木	金	土
【休館日】 毎週月曜日・最終金曜日 【開館時間】 9:30~20:00					1	2 😊
3 🎬📖	4	5	6	7	8	9 ★
10 📦	11 休館日	12	13 🎬	14	15 📖	16 🌙
17 🌞🎬🌸	18 休館日	19	20	21	22	23 ★
24 🎬	25 休館日	26	27 🎬	28	29 休館日	30 👥

イベントカレンダー

- 📖 よみきかせ(図書館スタッフ)
3日 14時~
- ★ よみきかせ(にじのはし)
9日 11時~
23日 11時~・14時~
- 📖 赤ちゃんと楽しむ 絵本ひろば
15日 10時~
- 🌙 ストーリーテリング(おはなしオルゴール)
16日 14時~
- 🌞 よみきかせ(苫小牧こどもの本の会)
17日 14時~
- 😊 ミニワークショップ
2日 11時~12時(受付10時30分)
- 🌸 図書館文化セミナー
17日 10時30分~

📦 おはなし玉手箱
10日 10時00分~

👥 図書館de年金セミナー
30日 10時30分~

🌸 図書館文化セミナー
17日 10時30分~

10/27(日)~11/9(土)は第73回 読書週間です



終戦の2年後の1947年、まだ戦火の傷痕がいたるところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意ひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

図書館ミニシアター

毎週日曜13時30分~
2階講堂・無料・申込不要

🎬 11/17 『アンストッパブル』
洋画・吹替(99分) デンゼル・ワシントン/出演
停車中の貨物列車が無人のまま走り出した。大量の化学薬品を積んでおり、時速100キロ以上で走る“巨大ミサイル”と化して突っ走っていく! ベテラン機関士フランクたちは、暴走を止めるべく決死の覚悟で立ち向かうが…。

🎬 11/3 『ハンコック』
洋画・吹替(92分) ウィル・スミス/出演
不死身で何千年も生きている男ハンコック。超人的なパワーで悪を倒し、街を守るヒーローのはずが、制御不能なパワーのお陰で嫌われ者に。そんな時、市民に愛されるヒーローになれるよう、彼のPRを買ってでるレイと出会う。

🎬 11/24 『ムーミン パペット・アニメーション 魔法の巻 飛行おにの魔法』
アニメ・吹替(100分) 松 たか子/声の出演
ムーミン生みの親トーベ・ヤンソン自ら監修し、ポーランドのSemafor Studioが制作したシリーズ。「魔法の巻」は、「カリフォルニアの王様」「アリジゴク」「魔法の帽子とジャングル」など10話収録。

図書館ナイトミニシアター

第2・第4水曜17時45分~
2階講堂・無料・申込不要

🎬 11/13 『パッチ・アダムス』
洋画・字幕(115分) ロビン・ウィリアムズ/出演
自殺癖を持つアダムスは、“笑い”が心の癒しになると気づき、医学の道を志し、名門大学の医学部に入学。治療の一環としてユーモアで患者を楽しませることを主張するが、学部長たちには理解されず、彼は無料診療院を開設する。

🎬 11/27 『長州ファイブ』
邦画(115分) 松田 龍平/出演
攘夷の嵐吹き荒れる幕末期の1863年。イギリスへ命をかけて密航留学した5人の若者達が出た。ロンドンの地に立ったこの長州藩の志士たちを、のちにイギリス人は敬意を込めて、「長州ファイブ」と呼んだ…。

※ミニシアター・ナイトミニシアターの内容紹介は、TRC MARCより